

## 第17回 鶴川駅南側街づくり検討会 会議要旨

場 所：和光大学ポプリホール鶴川 3階会議室

日 時：3月8日(土曜日) 10時00分～12時00分

出席者

地 権 者 等：10名

町 田 市：萩野課長、吉原担当課長、加藤係長、高梨主任、森本主事

コンサルタント：ポリテック・エイディディ（金子氏、小川氏）

### 【検討会の議事】

<次第>

1. 具体的な土地利用の検討
2. 道路イメージの検討  
～話し合いタイム～
3. 駅利用者アンケートの結果報告
4. 2014年度以降の検討の進め方

#### 1. 具体的な土地利用の検討

- 前回までの意見を整理し、東西エリア毎に様々な街並みの写真を用いて、現状を踏まえながら将来の土地のイメージを共有しました。

#### 2. 道路イメージの検討

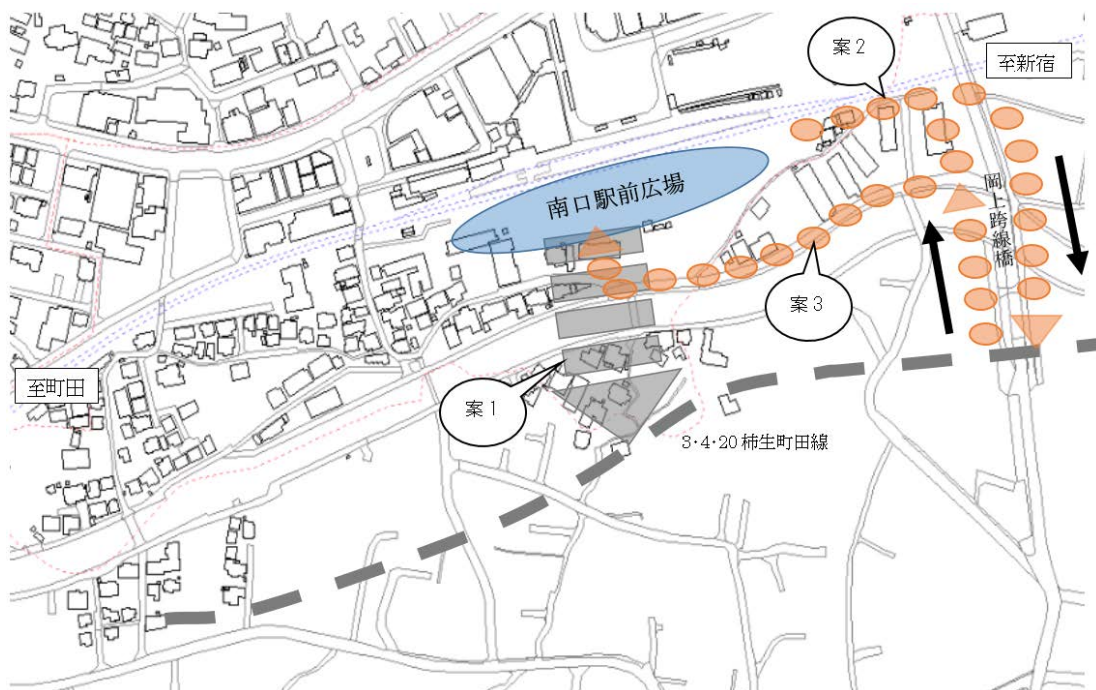
- 西側、東側に分かれて、土地利用と道路整備について意見交換をしました。
- 南口駅前広場へ大型バスを通すための道路案として、以下の3案を説明しました。

##### 【南口駅前広場の位置について】

第1案は、川崎市都市計画道路3・4・20号線柿生町田線から接続する案。

第2案は、岡上跨線橋の側道から線路沿いを通る案。

第3案は、岡上跨線橋の側道から鶴見川沿いを通る案。



## <西側エリア>

### ① ブロック毎の土地利用はどうするのが良いか。

- 線路沿いのブロックは、周囲の住環境に配慮したうえで、もう少し大きな建物の利用を可能にしてもいいと思う。また、小さな商店がほしい。
- 低層で緑豊かな環境を維持したい。

### ② 道路をどのように整備するのか。

- 道路幅員が4mだと車両のすれ違いができないため、道路幅員は6m程度必要。
- 道路拡幅による車両の通り抜けや速度超過車両が発生しないように、何らかの対策をして住民が安心して歩ける道路が良い。

## <東側エリア>

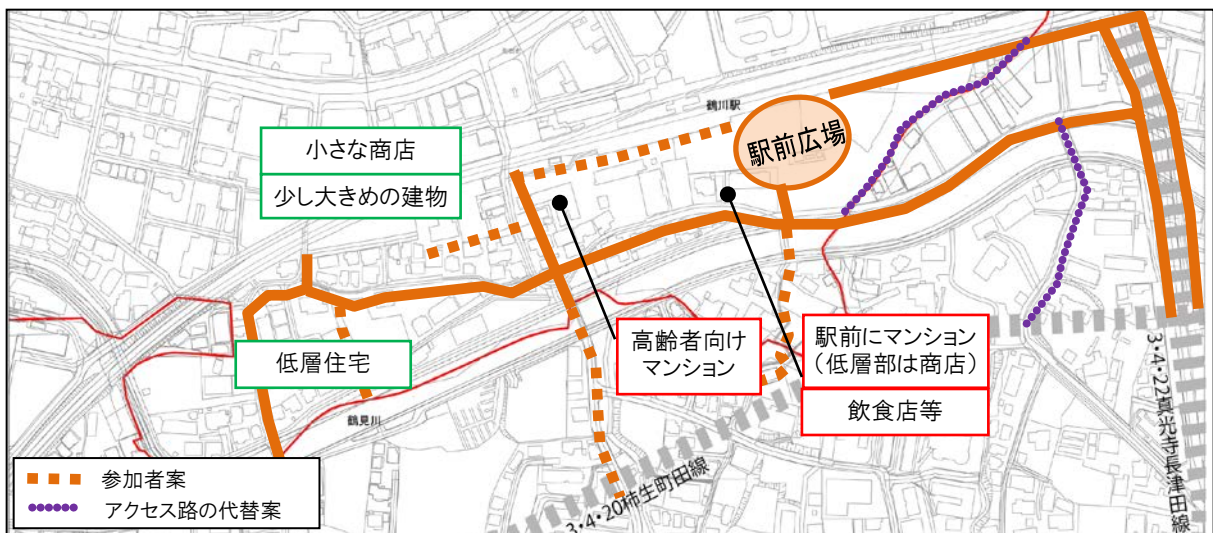
### ① 土地利用はどうするのが良いか。

- 駅前にマンションがあれば若い人を呼び込めるのではないかな。
- マンションの低層部は商店にしてもいいと思う。
- 高齢者対象の低層集合住宅をつくってみてはどうか。

### ② 道路をどのように整備するのか。

- 鶴見川沿い道路案では、大型バスの通行は難しいのではないかな。
- 南口駅前広場へのアクセス道路は、線路沿いが良い。
- 将来的に考えて、川崎市都市計画道路への接続は現道を活かすべきだ。
- 自転車通行が多いため自転車専用道路をつくるのが望ましいが、道路幅員を広く取る必要があるため難しいのではないかな。

## 【①土地利用及び②道路整備のイメージ図】



### 3. 駅利用者アンケートの結果報告

#### <実施内容>

- アンケートの配布は、2014年1月14日(火)、18日(土)の午前10時から午後8時まで、鶴川駅南口改札、駅南側へ向かうバス停の2箇所で実施しました。配布数は1,500通で、3月7日までに500通回収しています。

#### <集計結果から推察>

- 駅前広場や安全に通れる道路等の基盤整備や、商店等の導入など、周辺の駅利用者からの駅南側整備への期待は高い。
- 大規模な開発を求める意見は少なく、駅南側は低・中層建築物中心の街並みが相応しいという意見が多かった。
- 日常的な生活用品が揃い、多様で個性的な街が求められている。

### 4. 2014年度以降の検討の進め方

#### <下水道整備>

- 下水道の整備スケジュールとしては、調査・設計を2014年度から行ない、その結果に基づいて整備を検討していくと下水道部から聞いている。

#### <西側エリア>

- 2015年度までを目安に街づくり計画をより具体化していき、2016年度以降に街づくりルールの策定や都市計画の変更を行ない、2017年度以降に道路の拡幅や公園等の整備に着手。

#### <東側エリア>

- 2015年度までを目安に街づくり計画をより具体化していき、2016年度以降には事業実施の判断や都市計画等の必要な法的手続きを行い、2017年度以降に整備に着手。

- 西側エリア・東側エリア共に、少しでもスケジュールを前倒しして整備を進めていきたい。

#### <意見交換>

(意見) 下水道の整備は道路の拡幅後か。

(市の考え) 西側エリアは現道拡幅を基本として考えているため、現道の下に下水道を整備する予定である。

(意見) 下水はどのように流す予定なのか。

(市の考え) 自然下流で流す予定である。

#### <次回の検討会開催について>

- 次回の検討会は5月を予定している。詳細は開催通知にてお知らせする。